

2022/03/19 自然を語る会

参加者 19 名（飯田橋ボランティアセンター＋zoom）

今回は特にテーマを決めず、各自が今考えていること、今後会として行いたいこと、『沈黙の春』出版 60 周年として何かできるだろうかなどを話し合いました。

今考えていることは、もちろん多くの人が「ウクライナ」のことでした。なぜ、ウクライナの人々が不条理に殺され、生活を奪われ、子ども達が大砲の音におびえなくてはならないのか・・・今、世界中の人が心を痛めている問題です。

会への今後の希望としては

- ・ 21 世紀が戦争の世紀とならないよう、子ども達に平和を伝えたい、そのような活動をカーソン協会でも行いたい
- ・ 子ども達に自然の素晴らしさを伝えたい、今の子ども達は人工的な世界に囲まれすぎているのではないか。外に出る、子ども達を外に連れ出す活動をしたという希望が多かったです。
- ・ モナーク蝶は日本では見るできないけれど、同じように渡りをするアサギマダラを観察したい
- ・ 『沈黙の春』出版 60 年ということで、『沈黙の春』を現代の諸問題に照らし合わせて読んでみよう
- ・ 身近な生物に関する本やあまり世間に知られていないが大きな影響が心配される環境問題などに関する勉強会
- ・ 秋に今年の福岡伸一さんのような講演会をまたやりたい。地球は人間だけのものではなく、生きものすべてが大切だということを話してもらえる人、ウクライナに関連して戦争や環境問題についても触れられる人がいるだろうか？

（文責：小川）